



平成29年度スローガン

さらなる飛躍の年に
～一人一人が輝く黒部へ～

黒部商工会議所青年部だより



平成29年度青年部にかける思い

黒部商工会議所青年部
29年度会長

紙屋 衛

この度、黒部商工会議所青年部（以下、黒部YEG）第55代会長を拝命いたしました。その責任の重大さに体感したことのない緊張を感じるとともに、その重責を任せていただいた会員各位に感謝いたします。そして54年の歴史と伝統のある黒部YEGを支え、地域の発展に貢献してこられた諸先輩方に心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

まず、最初に私が会長になるにあたり会員の皆さんに向けて「何のために黒部YEGに入会したのか」「どんな理由があって黒部YEGに入会したのか」「これからの黒部YEGはどんな団体になっていけばいいと思うか」という3つの問いかけを行いました。

例えば、自社企業の発展のため、自分自身の研鑽のため、人と人とのつながりの輪を広げるため、地域に貢献するため、知人や同級生に誘われたから、親からの勧めがあったから、会社の方針など、会員それぞれに様々な目的と理由があったと思います。会員全員がそれらすべてを実現することは難しいかもしれませんが、1つでも多くのことを達成できる団体になっていけば、黒部YEGが一層発展し、地元をより活性化できるのではないかと考えています。

私が黒部YEGに入会したのは自社企業を黒部市内の皆様にも広く知ってもらえるのではないかと、友達や知り合いを増や

せるのではないかと、という期待があったからでした。気が付けば入会して8年の月日が流れ、まだまだ道半ばではありますが、企業規模も成長し、気のあう仲間や、相談にのってくれる先輩、話を聞いてくれる後輩もでき、自分の居場所が増えると共にYEG活動が楽しくなってきました。それに加えて、自分が働く目的が明確になり、人のために尽くすことの大切さに気が付き、人としても成長することができました。会員の皆さんにも是非YEG活動を通して色々なことを感じていただきたいと思います。

私が日頃から心の中に宿しているのは“人生はやるか、やらないかどちらかだけ”という想いです。自分が今まで岐路に立ったとき、やるかやらないか迷ったときに、やった方がいいと思うことは実行してきました。私の選択基準は“YEGの仲間、地域の皆様、お客様、社員、家族、そして今後の自分のためにもなる。”と思えるかどうかです。その結果、たくさんの成果を得ましたが、またそれ以上に失敗もしてきました。良い結果から学んだこと、失敗から学んだこと、どちらも自分にとってかけがえのない『経験』という大きな財産になっています。その自分自身の経験をもとに今年度6つの委員会と全会員が携わる特別委員会を組織しました。すべての委員会が「やるぞっ」という決意のもと同じ方向に進めば、今まで以上に固い絆で結ばれた、魅力と夢があふれる組織となり、会員それぞれが成長した自分たちに出会えるはずですよ。

最後に、この1年がこれからの黒部YEGの大きな発展とこれからの黒部市をしょって立つリーダー達の成長に寄与できることを祈念いたしまして、私の言葉とさせていただきます。

新入会員紹介（順不同）

10名の会員が入会いたしました。



楠建築
楠 智久 君
建築業



パレス扇寿
佐々木衛士 君
宴会場運営



ジブラルタ生命
平石 知也 君
保険業



松倉商会
松倉 真吾 君
農業機械・自転車販売修理



紙屋建興
一級建築士事務所
紙屋 和貴 君
建築設計



(有)デスクサポート
くりつづ
中島 太郎 君
事務用品・OA小売業



丸田石材工業(株)
丸田 尚史 君
石材工事・設計・施工・販売



(有)川端電気
川端 郁 君
電気工事業



(有)林農産
林 幸治 君
農産物生産・販売



北陸銀行黒部支店
元平 貴章 君
銀行業